

Static Wind

F-2A&F-16CJ ”とかちピッチ” & ”とかちロール” 製作・飛行説明書

組み立て説明

下準備(全機種共通)



まず必要な道具。
左からカッター、はさみ、テープ、インクの切れたボールペン、ものさし、セメダインC、ヘラです。

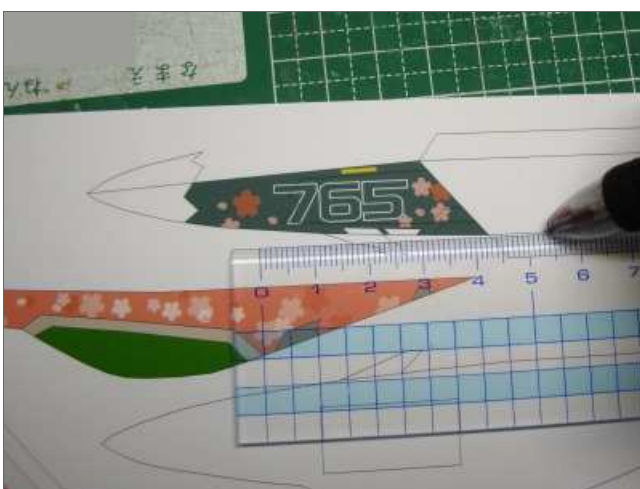
飛ばさない場合はセメダインCの代わりに工作用ボンド等が
使えますが、紙が歪むので木工用ボンドは非推奨です。で
きるだけ溶剤系の接着剤を用意してください。



紙はELECRAFTのペーパークラフト専用紙を使いました。
つやなし厚手のものが向いています。

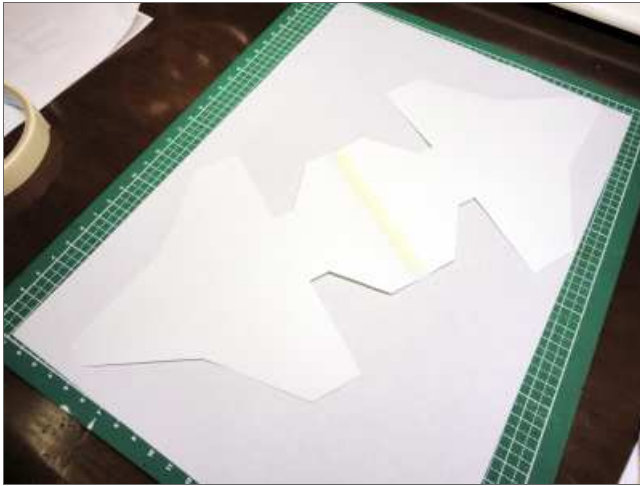
[ELECRAFT ペーパークラフト専用紙 EJC-K02](#)

秤量160g/m²前後のケント紙でも代用できます。

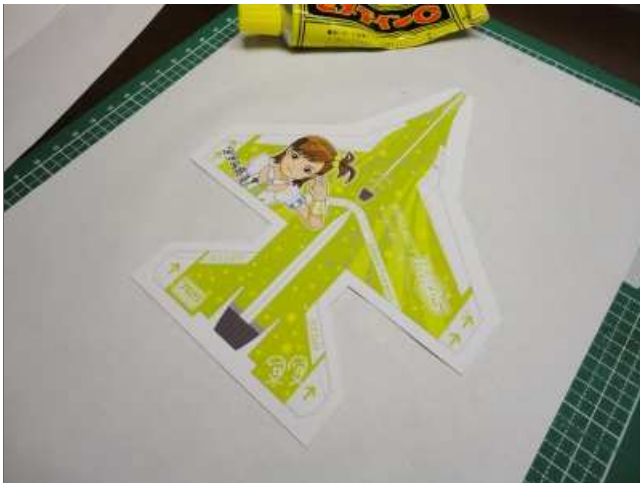


ボールペンで展開図に折り目をつけておきます。
インク切れのものがみつからない場合はキリ等の尖ったも
ので代用。

主翼貼り合わせ



青線で切り抜いた主翼を細めのテープで繋ぎます。



ずれないように貼り合わせます。
汚れないよう余白を大きめにとってあるので、
慣れない方は接着剤多めで確実に接着してください。

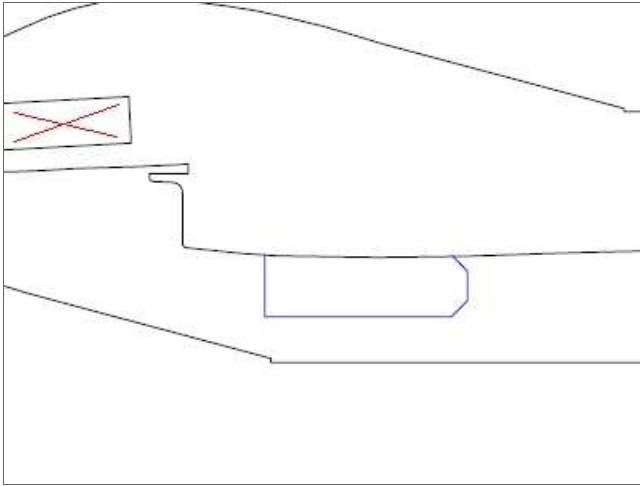


紙を一枚のせ、その上からしっかり擦って固定します。



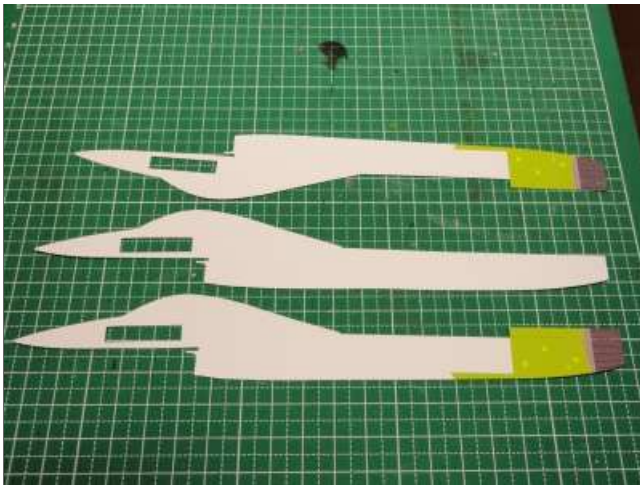
平らなものに挟み、重しをのせて一晩ほど放置。
時々取り出してゆがみをとります。

胴体

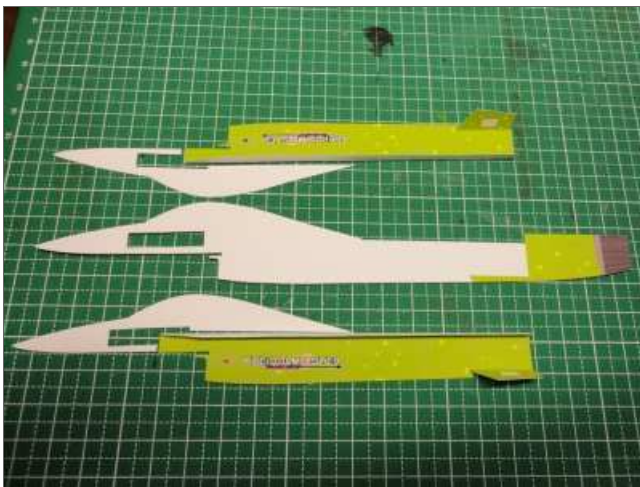


図の青線部分は前脚の基部になるので、ディスプレイモデルを製作する場合は残しておきます。飛行モデルの場合は切り落とし。

赤線部分はオモリ用の穴なので、飛行モデルの場合は切り抜き。



まず内側の3枚を接着。
のりしろまで接着しないように注意。
歪みが出ないように貼り合わせのたびに重しを乗せてしっかり乾燥させてください。



外側も同様にのりしろとフィンを折ってから接着。



胴体完成。

尾翼

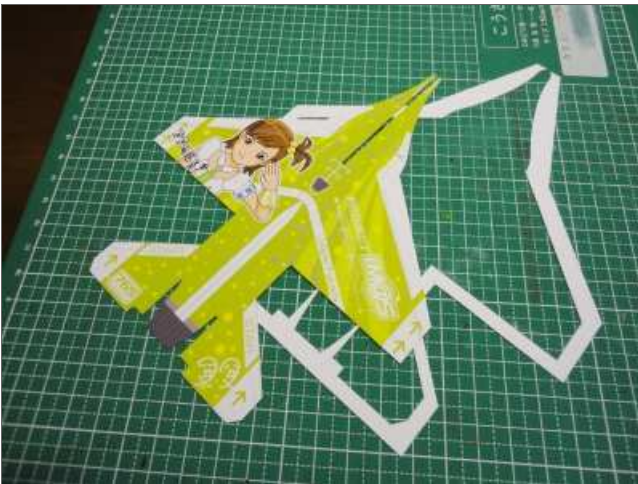


主翼同様、青線で切り抜いて貼り合わせ。



乾燥後、余白部分を切り離して尾翼完成。

主翼接着



一晩おいた後、ドライヤーでゆがみを取りながら完全に乾燥させておきます。そして余白をカット。



大目に接着剤を盛って一気に接着。
接着剤がはみ出して汚れやすい部分なので注意。



乾燥後、右側の機首と尾翼を接着。

重り



飛行モデル限定。クリップを24mmに切ったものを4本用意し、機首の穴につめます。



動かないようセメダインを塗って左側を接着。

ランディングギア



左のように前輪・主脚を組み立てて接着。
重みで開かないよう折り目に接着剤を盛っておくと吉。

完成



↑ディスプレイモデル
↓飛行モデル

…と組みあがります。
印刷面保護と防湿のためにクリアラッカーを吹いておいてください。

飛行モデルの調整法は「F-22A どんがラブター」を参考に。
完成状態で重心が後ろ過ぎたら機首パーツを貼り足して調整してください。

どちらも単純な形なので飛ばすのは楽ですが、翼幅の関係上F-2Aの方が安定性は高いと思います。